



第2回水道用塗料等調査専門委員会（6月15日）

水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 135）の規格改正に伴い、衛生性の観点から「水道施設の技術的基準を定める省令」の適用及び評価試験の方法について検討を行い、各委員から浸出試験結果についての報告を受けた。

第18回 IWA 日本国内委員会（6月21日）

報告事項として、①IWA 会長会議（ハンガリー）の概要について会長会議委員である松井京都大学大学院教授より報告。②2006年9月から2年間のIWA 副会長の立候補については、IWA 日本国内委員会より大垣東京大学大学院教授を推薦する旨を事務局より報告。③IWA 北京世界会議時に日本とフランスで共催する「Urban Water Security」ワークショップについて事務局より報告。④IWA 北京世界会議の展示会に出展するジャパン・パビリオン準備状況について事務局より報告。⑤5月にシンガポールで開催されたIWA 水道事業管理者会議について事務局より報告。

審議事項として、①2012年のIWA 世界会議開催の誘致について審議した。現状では開催希望する日本の水道事業体はないが、開催地が日本に決定した場合は、積極的に開催受け入れを考えるとということで承認された。

第84回機械・電気・計装専門委員会（6月21、22日）

「設備（機械・電気・計装）実務マニュアル」の原案作成について、設計業務、工事施工、保全業務、運転管理業務及びノウハウ集の構成及び記述内容等について審議した。

水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



6月23日 枚方市水道局浄水管理室

第7回水道 GLP 認定委員会（6月27日）

株式会社東海分析化学研究所の水道 GLP 認定について審議し、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

第844回会誌編集委員会（6月28日）

本誌の7月号、8月号の編集方針、投稿原稿の審査及び新規投稿原稿について審議し、有効賞の選考について事務局より説明した。

第9回 ISO 審査登録センター・運営委員会（6月30日）

議題①前回委員会議事録の確認、②第2回臨時マネジメント・レビューの結果についてを事務局から報告し了承した。

第56回中小規模水道問題協議会（7月4日）

はじめに、総務省自治財政局公営企業経営企画室課長補佐 平野正明氏より「民間の経営手法の導入検討」について、続いて本会工務部技術課副主幹 石川 剛より「指定給水装置工事事業者制度の最新動向」についての講演が行われた。

その後、情報交換事項として①市町村合併における水道料金改定等の諸問題について、②水道事業の民間委託について、③水道法第21条に定められている浄水場等に勤務する職員の健康診断の実施状況について、それぞれ情報交換を行った。



第134回水道技術管理者協議会（7月6日）

報告事項(1) 日本水道協会規格の水道用粒状活性炭（JWWA A 114）の制定と水道用濾材（JWWA A 103）及び水道用硬質塩化ビニル管の接着剤（JWWA S 101）の改正について、(2) 水道メータの JIS 化と計量法（省令）改正に伴う対応について、(3) 水道 GLP 認定の状況等について、(4) 平成18年度配管設計講習会の開催について、(5) その他で水道維持管理指針の発刊について、道路空間利用に関する意見交換会の報告、配水管技能者登録証（耐震継手）更新について、給水管更生工事に用いられる塗料について、水道水中に

おけるアスベストの存在状況調査結果について報告をした。

第35回国際委員会（7月12日）

報告事項として、①IWA 会長会議（ハンガリー）の報告、②IWA 副会長（任期：2006年9月～2008年9月）の立候補について、③IWA 北京世界会議ワークショップ「Urban Water Security」の準備について、④IWA 北京世界会議・展示会について、⑤2012年 IWA 世界会議開催の誘致について、先日の IWA 日本国内委員会の審議・決定事項について説明し、理解と協力を求めた。

平成18年度水道技術者ブロック別研修会（札幌市：6月6日～7日、盛岡市：6月8日～9日、甲府市：6月13日～14日、長野市：6月15日～16日、豊中市：6月20日～21日、高知市：6月22日～23日、長崎市：6月29日～30日）

水道の維持管理に万全を期することを目的に、全国の水道関係技術者約650名の参加を得て「水道概論」、「水道維持管理」、「水質衛生管理」、特別講演「水道施設の更新について」について研修を実施した。

平成18年度水道事業事務研修会（経営部門、初級コース）（6月13～16日）

正会員及び賛助会員の事務職員（水道歴概ね3年未満）の方々約70名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「予算及び決算・演習」、「水道料金・演習」、「経営分析・演習」、「水道事業における公費負担のあり方」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

平成18年度水道事業事務研修会（経営部門、中級コース）（7月10日～14日）

正会員及び賛助会員の事務職員（水道歴概ね3年以上）の方々約70名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「予算及び決算・演習」、「水道料金・演習」、「経営分析・演習」、「水道事業における公費負担のあり方」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

また、研修会最終日にグループ別のディスカッションが行われ、活発な情報交換が行われた。

平成18年度水道事業事務研修会（労務部門）（6月19日～23日）

正会員の事務職員の方々約40名の参加を得て、「水道概論」、「水道事業における第三者委託」、「地方公務員法と公務員の責務」、「管理・監督者のあり方」、「再任用制度について」、「地方公営企業の労使関係」、「最近の労働判例」、「地方公営企業職員の労務管理」、「事例研究・討議」について、労務の実務を中心とした研修会を実施した。

また、研修会最終日にグループ別ディスカッションが行われ、活発な情報交換が行われた。

平成18年度未納料金対策実務研修会（第1回）（7月6日～7月7日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々約80名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

平成18年度新任水道事業管理者研修会（6月28日～6月30日）

就任間もない事業管理者及び責任者の方々40名の参加を得て、「水道事業の今日的課題」、「水道事業の現状と課題」、「地方公営企業をめぐる諸問題」、「水道経営と料金のあり方」、「水道事業における労働法体系並びに労務管理」、「地方公営企業の労使関係」、「水道事業と争訟」、「水道事業における危機管理」について、それぞれの科目に造詣の深い講師より講義が行われた。

また、研修会の最後にディスカッションが設定され、活発な情報交換が行われた。

平成18年度漏水防止講座（第1回：6月26日～6月28日）

水道事業及び賛助会員の漏水防止に従事する技術職員約90名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「これからの漏水防止」について講義があり、第3日目には、漏水防止関連機器を使っての実地研修を行った。

平成18年度浄水場等設備技術実務研修会

（第1回：6月5日～6月9日、第2回：7月3日～7月7日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作を実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第600回抄録委員会（7月14日）

第600回抄録委員会は東京都水道局中央支所管轄の市ヶ谷水管橋視察を交え開催された。午前10時30分より本会会議室にて市ヶ谷水管橋の概要について東京都水道局より説明を受け、その後本会最寄り駅市ヶ谷駅の近くにある市ヶ谷水管橋を視察した。この視察には、厚生労働省の山村水道課長も出席された。視察後、本会会議室に戻り、本誌10月号、11月号に掲載する抄録の内容及び9月号、10月号に掲載する文献目録について審議した。

